

設備保全管理システム「UNIVEAM Ver 3.0」のご紹介

当社製品である「UNIVEAM 3.0」は、設備保全管理業務をトータルサポートするソリューションである。UNIVEAMは生産設備やインフラ設備に対してPDCAサイクルの設備保全業務をサポートする機能を装備しており、製造業界のリーディングカンパニーをはじめ、多数の有力企業に採用されている。オンプレミスまたはクラウドサービスにてお客様が必要とする管理機能を提供可能である。

1. はじめに

当社製品である「UNIVEAM」は、設備保全管理業務をトータルサポートするソリューションである。1985年に「Model A」として販売を開始し、約30年にわたり製造業界のリーディングカンパニーをはじめ、多数の有力企業に採用されている。近年は電力会社などの新業種へ導入が行われ、新たな顧客要望に応えるため、最新のIT技術の取り込みと、保全管理機能の強化を図った「UNIVEAM Ver 3.0」を2016年7月にリリースした。

2. 製品概要

UNIVEAMは生産設備やインフラ設備に対してPDCAサイクルの設備保全業務をサポートする機能を装備している。設備保全におけるPDCAとは、保全の計画、予算の立案を行う「Plan」、計画に基づいた保全の実行を推進する「Do」、故障実績やコスト分析を行う「Check」、分析結果に基づいて、保全計画の見直しや水平展開を行う「Action」となる。



図1：設備保全管理におけるPDCAイメージ

3. 販売実績

海外を含め、多業種のリーディングカンパニーで採用されている。販売数として約500社、7,000セットの販売実績がある。当社内でもパーティクルボード事業部、機械事業本部（広畑）で活用されており、他拠点でも採用の検討が進んでいる。

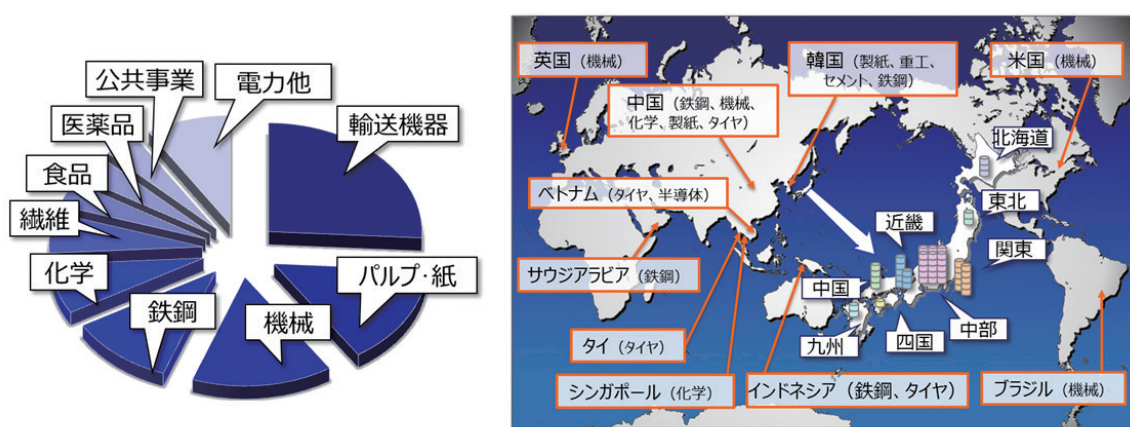


図2：販売実績（業種、国内実績、海外実績）

4. 製品の特長

UNIVEAMの特長は以下のとおりである。

- ①標準機能に加え、予備品管理、予算管理、予防保全を含めた総合保全をサポート。
- ②多言語をサポートし、海外工場を含めた管理が可能。
- ③iPad, Android、当社ELES MART Xを活用した現場保全をサポート。
- ④フレームワーク機能によりユーザーが画面や帳票の変更/作成が可能。
- ⑤OSS (Open Source Software) を活用。PostgreSQL選択の場合、安価に導入が可能。
- ⑥必要機能を選択して購入が可能。(機器マスタ+故障のみ購入など)
- ⑦オンプレミスまたはクラウドサービスでの利用が可能。

5. 製品機能

UNIVEAMが提供する機能は以下のとおりである。

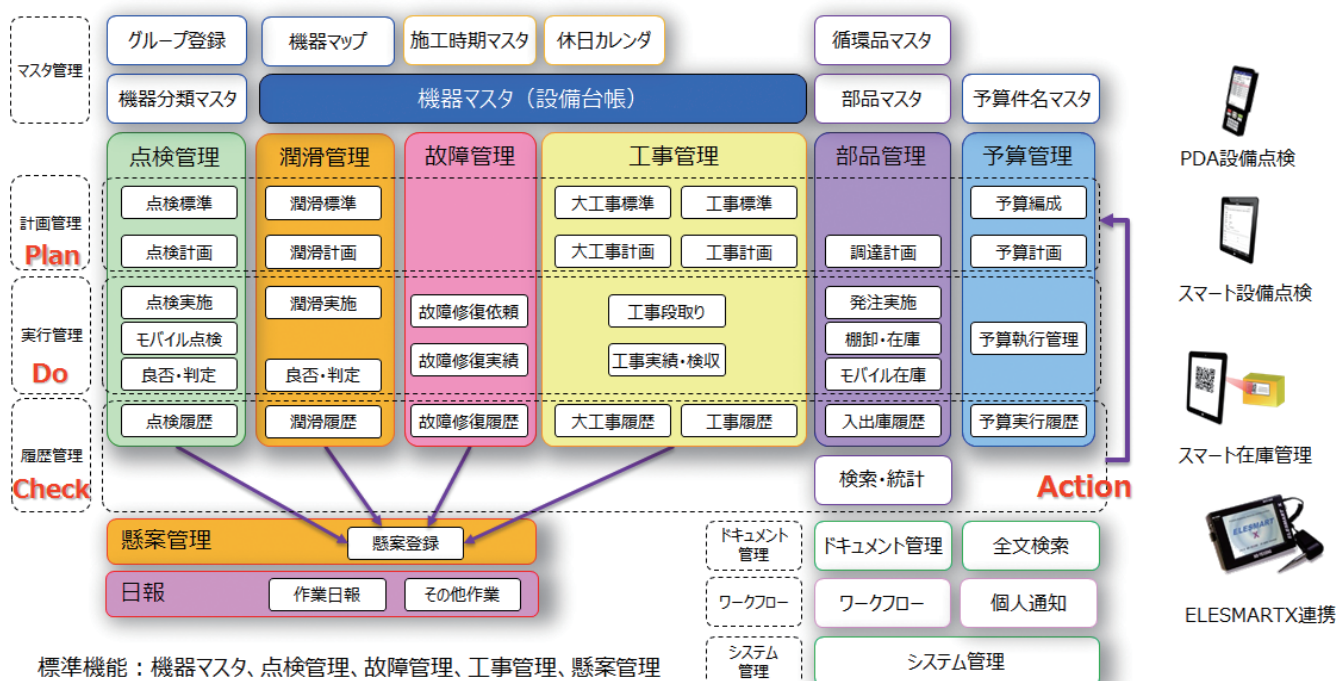


図3：UNIVEAM機能

6. 機能の一例

工事管理の機能イメージは以下のとおりである。



図4：工事管理機能イメージ

7. 動作環境

UNIVEAMが提供する動作環境は下記のとおりである。クラウドサービスの場合は、インターネットに接続可能なクライアントのみで利用が可能である。

種別	OS	アプリケーション	
Server	Windows 2012 R2	Oracle 12c	Apache Tomcat 8
	Red Hat Linux 7 / Cent OS	PostgreSQL 9.4	JDK 1.8 Fess 9.4
Client PC	Windows 7, 8.1, 10	IE 11, Edge, Excel 2007以降 モニタ解像度 1280×768以上	
Tablet	iOS9以降	Safari	
	Android 5.1以降	Chrome47以降	
PDA	Windows Embedded CE 6.0 R3 Professional	Windows Mobile Data Center 6.1 (Client PC) IIS 8.5 (WEBサーバー)	

表1: UNIVEAM動作環境

8. 拡販に向けて

デモ機の貸与、クラウドでの製品評価を提供している。弊社ホームページへの記載、製品パンフレット、リーフレットを用意しており、活用いただければ幸いである。

お問い合わせ先

電計事業本部 システムソリューション事業部 システム3部 大阪システムグループ

TEL 06-7709-9355